

# 月報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

第44回全国豊かな海づくり大会

～美しみえ大会～協賛金贈呈式

－7月17日(木)－三重県庁－



贈呈式の様子 (県庁)

7月17日(木)、県庁にて第44回全国豊かな海づくり大会美しみえ大会への漁協系統団体による協賛金贈呈式が行われた。

協賛金の贈呈にあたり、三重県内漁協系統団体を代表して三重漁連・濱口会長が「この大会は、海の環境が大きく変化している中で「豊かな海」の再生の取組を推進する絶好の機会である。この大会が盛大に開催され意義あるものとなる為、少しでもお役に立てればと思う」と挨拶し、一見知事に目録が贈呈した。

知事からは「本大会だけでなく、あらゆる機会を促えて三重県の水産業をPRし、振興を図りたい」と意欲を示した。

“日本の食品”輸出 Expo

－7月9日(水)－東京－

7月9日(水)～11日(金)、東京ビッグサイトにて“日本の食品”輸出 Expo が開催された。

会場には世界に誇る“日本の食品”が一堂に集まり、三重漁連からは『伊勢まい』、『伊勢ぶり』、『三重県産藻海藻類』等を海外バイヤーに対して PR 活動(商品展示、パンフレット配布、一部製品の試食等)を3日間行った。

三重漁連ブースには多くの方々が訪れ、その中でも中国やシンガポール、マレーシア等のバイヤーと商談することができ、今後の輸出展開に期待される内容であった。



三重漁連ブースの様子 (東京)

2025 年度黒のり漁期前研修会  
—8 月 5 日(火)-華王殿(松阪)—

8 月 5 日(火)、松阪市・華王殿にて、三重漁連と三重県黒のり養殖研究会の共催により 2025 年度三重県黒のり漁期前研修会が開かれた。

桑名から鳥羽までの生産者および漁協職員、県・市町担当者等、関係者ら 122 名の方々が参加した。

午前の部では、漁連購販事業部のり海藻課より「昨漁期の振り返りおよび来漁期に向けて」、指導部より「今漁期の推進について」、鈴鹿水産研究室より「昨漁期の振り返りと今後の課題について」が発表された。

午後の部では、三重・桑名・愛知海苔問屋各社のディスカッション形式に加え、三重県水産振興課より「下水処理場の栄養塩類管理運転の効果検証について」、環境省より「環境基準の水域類型の指定の見直し検討及び第 10 次水質総量削減の在り方について」の講演があった。また、話題提供としては、(株)水土舎より「外国人材の基本と海苔業界における活用案」の講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。



漁期前研修会時の様子 (松阪市)

令和 7 年度「伊勢湾・三河湾海域  
利用者航行安全協議会」総会  
—7 月 15 日(火)-常滑—



総会の様子 (常滑市)

7 月 15 日(火)、または食堂りんくう常滑店大会議室において、伊勢湾・三河湾海域利用者航行安全協議会による総会が開催された。

この協議会は、伊勢湾・三河湾海域を利用し活動の場とする一般船舶と漁業関係者間の安全で効率的な海域の利用の推進及び航行安全の確保を図るために設立された組織である。その協議会である総会では、令和 6 年度事業・収支決算報告と令和 7 年度収支予算・事業計画の案を諮り、全て承認された。

その後、第四管区海上保安本部管内における海難発生について事例と、令和 7 年度の海の事故ゼロキャンペーンについて期間や重点事項の報告があり、総会は終了した。

【主な予定】

○8 月 20 日(水)～22 日(金)

シーフードショー (東京)

○9 月 2 日(火)

永富氏叙勲受賞祝賀会

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。